



星座は、いつ、どうしてできたの、どうしてあるの

約5000年以上前、今のイラクあたりでつくられた

夜空にかがやく星をつないで見ると、いろいろな形を、想像することができます。

約5000年以上も前、今のイラクのあたりに住んでいた、カルデア人は、夜空の星を見て、いくつかの星をつなぎあわせてみました。つなぎあわせた形を、身近にある道具や動物、伝説に出てくる人などの絵にあてはめ、名前をつけてよびました。これが、星座のもとになりました。

その後、1900年ぐらい前に、ギリシャのプトレマイオス、という人が書いた本に、48の星座のことが書かれています。この48の星座のほとんどは、現在でも使われています。

1930年、星座を世界共通のものに統一した

400年ぐらい前になると、たくさんの人々が、船で地球のあらゆる場所へ、出かけて行くようになり、いろいろな場所の夜空を見て、48のほかの星座も、多くつくられるようになりました。

プトレマイオスの本にのっていた星座は、すべて、ギリシャから見ることができる星でしたが、船でいろいろな場所に行くと、ギリシャから見えなかった星が、たくさんあることがわかりました。このときに、新しい星座が100以上もつくられました。

ところが、世界のいろいろな国で、それぞればらばらに星座をつくり、星座の名前をつけていたので、同じ星が、二つの星座の名前で表されるというように、いろいろな混乱が起きました。この混乱をさけるために、1930年に、星座名を世界共通なものに統一して、88の星座にしました。(監修・国司 真)

